



# 第3回 多々百景写真コンテスト



## グランプリ受賞

### 作品名「でかいやー」

2年連続のグランプリ受賞を驚きとともに大変うれしく  
 思っています。今回の写真は、女山大根の収穫イベントで  
 撮影したもので、男の子の素晴らしい表情と、背景の「女  
 山大根」ののぼり旗をきれいに写せたので、コンテストの  
 主旨にもぴったりだと思いました。これからも美しい風景  
 や多々市のみなさんのいきいきとした表情をカメラに収め  
 ていきたいです。

※グランプリの写真は表紙に掲載しています



かわさき のぶよし  
**川崎 信義** さん  
 (長崎県佐世保市)



## 準グランプリ受賞

### 作品名「星空に浮かぶ多々聖廟」



やなぎ しげひろ  
**柳木 繁弘** さん  
 (佐賀市)

10年間、星の写真  
 を撮り続けていま  
 す。今回は多々聖廟  
 に、星にまつわる話  
 があると知り、北極  
 星と聖廟をコンセプ  
 トに、20秒ごとにシャッターを切り、約200枚の  
 写真を合わせて仕上げました。普段は写真クラブ  
 を主宰していて、メンバーと釈菜などの多々市の  
 さまざまなイベントを撮影しています。今後もさら  
 に、難しい写真を撮れるよう挑戦していきます。



## 豊かちまちを守り、育む

点の一つとして足を運んでいただけたら嬉しい  
 です」と笑顔で話されます。

これまでの3回のコンテストで、グランプリ・  
 準グランプリを含む、計60の入賞作品が集まり  
 ました。「応募作品は、柔軟な発想で撮影されて  
 いるものがとても多く、毎回感動しています。  
 山の上から花火を撮ったり、向かいの山から山  
 間部の集落を撮ったりと、1つの写真に収める  
 ための行動自体が素晴らしいですね。長い間、  
 多々市の人たちが守り続けてきた自然と文化の  
 良さに気付いて撮影してくださる人が多いと感  
 じます」と話す諫山さん。回を重ねるにつれ、  
 カメラを持って景色を眺めながら歩く人が増え  
 るなど、コンテストの効果は大きいようです。

一番の目標は、みなさんが多々市の自然や歴  
 史・文化に興味・関心を抱いて、景観を一緒に  
 守り育ててもらうこと。「コンテストはあくまで  
 その手段の1つなので、これを通して多々市の  
 歴史を記録しながら、まちを守り育む活動を行っ  
 ていきたいと思えます。ぜひ多々百景写真コン  
 テストに挑戦し、一緒に多々市を盛り上げましょ  
 う」と諫山さんは思いを語られます。

問 公益財団法人孔子の里 ☎75-51112